

最高裁秘書第4635号

令和元年9月18日

林弘法律事務所

弁護士 山中理司 様

最高裁判所事務総長 中村

慎



司法行政文書開示通知書

平成31年2月13日付け（同月15日受付，最高裁秘書第812号）で申出のありました司法行政文書の開示について，下記のとおり開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する司法行政文書の名称等

伊藤正己裁判官の履歴書（片面で10枚）

2 開示しないこととした部分とその理由

1の文書には，個人識別情報（本籍地等）が記載されており，これらの情報は，行政機関情報公開法第5条第1号に定める不開示情報に相当することから，これらの情報が記載されている部分を開示しないこととした。

3 開示の実施方法

写しの送付

担当課 秘書課（文書室）電話03（3264）5652（直通）

籍	本	氏名	伊い 藤とう 正まさ 己み
現住所		出生の 年月日	大正八年九月二十一日
出生地		旧氏名	
年	号	月	日
事			
項			
庁			
名			
一八七			
高等試験司法科試験合格			
二〇九			
同修了			
二一五八			
司法省の通訳事務を囑託する			
大臣官房秘書課勤務を命ず			
司法省			
履歴書用紙			
裁判所			
五三一			
法務庁人補第一号訓令に依り調査意見第一局勤務 願により臨時職員を免ずる			
東京大学大学院二期特別研究生修了			
文部教官に任命する			
二級に叙する			
東京大学助教授に補する			
法学部勤務を命ずる			
文部省			
総理庁			

伊藤正己

二五	四	一	英吉利法第二講座担任を命ずる	〃
五	一五		人事院規則八一一の改正により官の級別廃止	

履歴書用紙

裁判所

八	一二	兼職	法制審議会破産法部会幹事	法務府
---	----	----	--------------	-----

二七	四	一	兼職	東京大学教養学部非常勤講師	東京大学
				兼職期間二八、三、三一まで	

伊藤正己

〃	〃	二六	法廷等の秩序維持に関する最高裁判所規則制定諮問特別委員会幹事を委嘱する	最高裁判所
---	---	----	-------------------------------------	-------

〃	〃	〃	東京大学助教授（法学部）に配置換する	〃
〃	五	一一	（旧制大学課程廃止に伴う発令） あわせて大学院社会科学研究科基礎法学課程担当を命ずる	東京大学

履歴書用紙

裁判所

〃	八	二〇	アメリカ合衆国へ出張を命ずる	〃
〃	九	七	（昭和二十九年八月二十二日出発） （昭和三十一年七月十五日 帰国） 英米法第三講座担当を命ずる（省令第二三号施行に伴う発令替）	〃

〃	九	一	本塾大学講師（法学部）に任用する	慶応義塾大学
---	---	---	------------------	--------

〃	一二	一	東京大学講師（教養学部）に併任する	
---	----	---	-------------------	--

伊藤正己

		任期は昭和三十一年三月三十一日までとする	東京大学
" 三二	" 四	東京大学教授（法学部）に昇任させる	文部省
"	"	英米法第二講座担当を命ずる	東京大学

"	"	東京大学講師（教養学部）に併任する	
		任期は昭和三十三年三月三十一日までとする	東京大学

4 丁

"	四	一	東京大学講師（教養学部）に併任する	
---	---	---	-------------------	--

履歴書用紙

裁判所

		任期は昭和三十四年三月三十一日までとする	東京大学
--	--	----------------------	------

"	"	東京都立大学講師（非常勤）に委嘱する	
---	---	--------------------	--

		任期は昭和三十四年三月三十一日までとする	東京都立大学
--	--	----------------------	--------

"	四	一	東京大学講師（教養学部）に併任する	
---	---	---	-------------------	--

		任期は昭和三十五年三月三十一日までとする	東京大学
--	--	----------------------	------

三六	八	一六	アメリカ合衆国へ出張を命ずる (昭和三十六年八月二十五日 出発) (昭和三十六年十一月十一日 帰国)	東京大学
----	---	----	--	------

〃	四	一	東京大学教授教養学部兼任する 任期は昭和三十八年三月三十一日までとする	文部省
---	---	---	--	-----

三八	四	一	東京大学評議員に併任する 任期は昭和三十九年十一月十日までとする	〃
----	---	---	-------------------------------------	---

履歴書用紙

裁判所

昭和三八	四	一	任期は昭和三十九年三月三十一日までとする 昭和三十八年度東京大学大学院法学政治学研究科担当 を命ずる	文部省
------	---	---	--	-----

〃	〃	〃	大学院法学政治学研究科基礎法学課程主任を命ずる 任期は昭和四十年三月三十一日までとする	〃
〃	〃	〃	大学院法学政治学研究科委員会委員を命ずる 任期は昭和四十年三月三十一日までとする	〃

三九	四	一	東京大学教授教養学部兼任する 任期は昭和四十年三月三十一日までとする	〃
----	---	---	---------------------------------------	---

伊藤正己

昭和三十九年度東京大学大学院法学政治学研究科担当	を命ずる
〃	〃
〃	〃

履歴書用紙

裁判所

東京大学附属図書館長事務代理を命ずる	文部省
東京大学附属図書館長事務代理を免ずる	〃

連合王国及びアメリカ合衆国の各国へ出張を命ずる	〃
出張期間は昭和四十二年三月二十五日から昭和四十三年三月二十四日までとする	〃

伊藤正己

"	"	"	最高裁判所図書館委員会委員を委嘱する	最高裁判所
---	---	---	--------------------	-------

"	二	一	東京大学評議員に併任する 任期は昭和四十五年十二月十二日までとする	文部省
---	---	---	--------------------------------------	-----

					7	丁	√	√
"	"	"	東京大学法学部附属外国法文献センター長に併任する					
"	一一	一	併任の期間は昭和四十七年十月三十一日までとする	"				
"	"	"	東京大学法学部長に併任する					
			併任の期間は昭和四十七年十月三十一日までとする					
			東京大学評議員に併任する					
			併任の期間は昭和四十七年十月三十一日までとする					
"	"	"	東京大学評議員の併任を解除する	"				

履歴書用紙

裁判所

"	四	一	東京大学総長特別補佐を委嘱する	"
---	---	---	-----------------	---

東京大学総長特別補佐の委嘱を解く

〃

学術審議会委員に任命する

文部省

任期は昭和五十三年一月三十一日までとする

東京大学教授教養学部兼任する

併任の期間は昭和五十二年三月三十一日までとする

東京大学大学院土学系研究科担当を命ずる

東京大学

履歴書用紙

裁判所

中央教育審議会委員に任命する

任期は昭和五十四年六月九日までとする

文部省

学術審議会委員に任命する

任期は昭和五十五年一月三十一日までとする

〃

中央教育審議会委員に任命する

任期は昭和五十六年六月十四日までとする

〃

願により学術審議会委員を免ずる

〃

願により中央教育審議会委員を免ずる

〃

伊藤正己	〃	〃	〃	〃	〃
	辭職を承認する	〃	〃	〃	文部省
	最高裁判所判事に任命する	一九	〃	〃	内閣

〃	五九	三	一四	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	最高裁判所
〃	五八	四	九	司法修習生考試委員會委員を委嘱する	〃
〃	五七	五	二〇	東京大学名誉教授の稱號と授與する	東京大学
〃	五六	六	二一	簡易裁判所判事選考委員會委員を委嘱する	最高裁判所
〃	五五	七	二二	最高裁判所判例委員會委員を任命する	〃
〃	五四	八	二三	欧米各國における司法事情視察のため約	〃
〃	五三	九	二四	二十日間の予定で欧米各國へ出張を命ずる	〃
〃	五二	一〇	二五	(昭和五八年 九月 一五 日出発 昭和五八年 十月 六日 帰着)	〃
〃	五一	一一	二六	司法修習生考試委員會委員を委嘱する	〃
〃	五〇	一二	二七	簡易裁判所判事推選委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四九	一三	二八	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四八	一四	二九	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四七	一五	三〇	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四六	一六	三一	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四五	一七	三二	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四四	一八	三三	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四三	一九	三四	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四二	二〇	三五	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四一	二一	三六	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四〇	二二	三七	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三九	二三	三八	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三八	二四	三九	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三七	二五	四〇	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五六	二六	四一	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五五	二七	四二	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五四	二八	四三	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五三	二九	四四	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五二	三〇	四五	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五一	三一	四六	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五〇	三二	四七	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四九	三三	四八	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四八	三四	四九	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四七	三五	五〇	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四六	三六	五一	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四五	三七	五二	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四四	三八	五三	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四三	三九	五四	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四二	四〇	五五	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四一	四一	五六	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四〇	四二	五七	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三九	四三	五八	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三八	四四	五九	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三七	四五	六〇	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五六	四六	六一	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五五	四七	六二	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五四	四八	六三	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五三	四九	六四	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五二	五〇	六五	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五一	五一	六六	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五〇	五二	六七	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四九	五三	六八	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四八	五四	六九	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四七	五五	七〇	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四六	五六	七一	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四五	五七	七二	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四四	五八	七三	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四三	五九	七四	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四二	六〇	七五	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四一	六一	七六	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四〇	六二	七七	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三九	六三	七八	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三八	六四	七九	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三七	六五	八〇	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五六	六六	八一	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五五	六七	八二	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五四	六八	八三	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五三	六九	八四	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五二	七〇	八五	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五一	七一	八六	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	五〇	七二	八七	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四九	七三	八八	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四八	七四	八九	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四七	七五	九〇	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四六	七六	九一	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四五	七七	九二	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四四	七八	九三	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四三	七九	九四	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四二	八〇	九五	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四一	八一	九六	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	四〇	八二	九七	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三九	八三	九八	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三八	八四	九九	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃
〃	三七	八五	一〇〇	司法修習生考試委員會委員の委嘱を解く	〃

六	三	一九	最高裁判所判例委員会委員と充ずる	
〃	一一	一二	最高裁判所図書館委員会委員と命ぜらる	〃
六二	五	六	昭和六二年八月日から同月十二日までアメリカ合衆国サンフランシスコ市等において開催されるアメリカ法曹協会年次総会等に出席するにため約十三日間の予定で同国に出張を命ずる	〃
			(昭和六二年 八月 一日 出発)	
			昭和六二年 八月 二一日 帰着	
〃	〃	〃	昭和六二年九月六日から同月十一日まで大韓民国ソウル市において開催される法による世界平和センター第十三回会議(世界裁判官会議)に出席するため約六日間の予定で同国に出張を命ずる	

命する

(昭和六二年 九月 六日 出発)

(昭和六二年 九月 一日 帰着)

六三 一三 一三 最高裁判所図書館委員会委員を命ずる

平成 元 九 二〇 最高裁判所図書館委員会委員を免ずる

裁判所法第五十条の規定により最高裁判所判事

定年退官

(平成元年九月二〇日限り定年退官)

履歴書用紙

裁判所